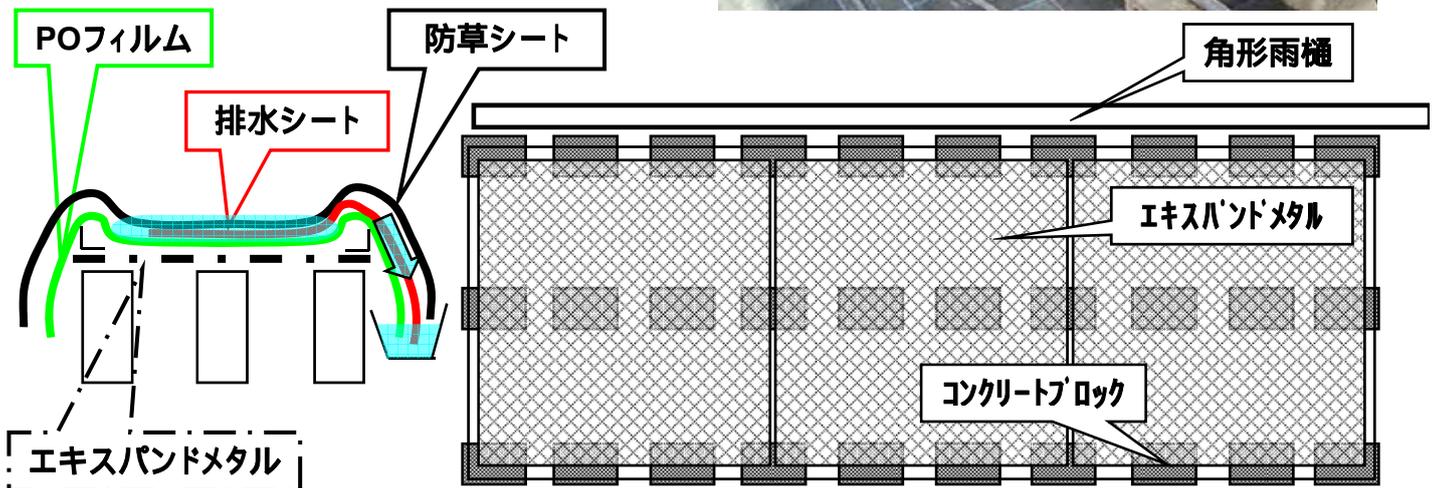


イチゴの炭疽病回避を目指した簡易底面給水装置

【背景・目的・成果】近年、ハウス栽培されているイチゴの品種は、炭疽(たんそ)病に弱く、育苗中に炭疽病が激発し、農薬散布の増加、生産量の減少により生産意欲が減退しつつあります。そこで、炭疽病の重要な伝染ルートであるかん水時の飛沫(ひまつ)による罹病(りびょう)苗からの菌の拡散を回避する簡易型底面給水装置を開発しました。

装置の特徴

- 1 底面から給水することにより、灌水時の菌の拡散が回避できます。
- 2 灌水タイマーにより給水し、排水シートの毛管現象で自動排水するので、灌水の省力化につながります。
- 3 資材は、できるだけ規格品をそのまま利用。無駄が少なく工作容易です。



【技術の活用】 作業姿勢の改善のためには、直管等で架台を高くする。
ベッドが長い場合は、灌水(かんすい)チューブを利用して給水時間を調節する。